

Cisco セキュリティ アドバイザリ : Cisco Video Surveillance IP ゲートウェイおよびサービスプラットフォームの認証の脆弱性

Critical	アドバイザリーID : cisco-sa-20070905-video	CVE-2007-4747
	初公開日 : 2007-09-05 16:00	4747
	バージョン 1.0 : Final	CVE-2007-4746
	CVSSスコア : 10.0	2007-4746
	回避策 : Yes	
	Cisco バグ ID :	

日本語による情報は、英語による原文の非公式な翻訳であり、英語原文との間で内容の齟齬がある場合には、英語原文が優先します。

概要

Cisco Video Surveillance IP ゲートウェイ ビデオ エンコーダとデコーダ、Services Platform (SP; サービスプラットフォーム)、および Integrated Services Platform (ISP; 統合サービスプラットフォーム) の各デバイスには、ネットワーク接続を確立しているリモート ユーザが脆弱なデバイスに対する完全な管理制御を取得できるようになる、認証の脆弱性が含まれています。これらの脆弱性に対する回避策はありません。

Cisco では、該当するお客様用に、これらの脆弱性に対応する無償ソフトウェアを提供しております。

このアドバイザリは <http://tools.cisco.com/security/center/content/CiscoSecurityAdvisory/cisco-sa-20070905-video> で掲示されます。

該当製品

修正済みソフトウェア

脆弱性を含む製品は次のとおりです。

- Cisco Video Surveillance IP ゲートウェイ エンコーダ/デコーダ (スタンドアロンおよびモジュール) ファームウェア バージョン 1.8.1 以前
- Cisco Video Surveillance SP/ISP デコーダ ソフトウェア ファームウェア バージョン 1.11.0 以前

- Cisco Video Surveillance SP/ISP ファームウェア バージョン 1.23.7 以前

配置されたビデオ サーベイランス デバイスにインストールされているファームウェアのバージョンを調べるには、Stream Manager 設定管理ツールを使用する必要があります。

脆弱性を含んでいないことが確認された製品

他のシスコ製品においてこのアドバイザリの影響を受けるものは、現在確認されていません。

改訂履歴

リビジョン 1.0	2007 年 9 月 5 日	初版リリース
-----------	-------------------	--------

利用規約

本アドバイザリは無保証のものとしてご提供しており、いかなる種類の保証も示唆するものではありません。本アドバイザリの情報およびリンクの使用に関する責任の一切はそれらの使用者にあるものとします。また、シスコは本ドキュメントの内容を予告なしに変更したり、更新したりする権利を有します。

本アドバイザリの記述内容に関して情報配信の URL を省略し、単独の転載や意識を施した場合、当社が管理した情報とは見なされません。そうした情報は、事実誤認を引き起こしたり、重要な情報が欠落していたりする可能性があります。このドキュメントの情報は、シスコ製品のエンドユーザを対象としています。